

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などレジャー施設が数多く集まっている。

京成電鉄とJR総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城址、武家屋敷、順天堂記念館、平成12年11月に一般公開された旧堀田邸など、歴史と文化の環境に恵まれている。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、市立図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており商店街も形成している。

公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成11年3月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。JR佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩15～20分、最寄りバス停から5分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成26年3月末日で、29,253人で昨年に比べ285人の減となっており、ここ10年位は微増・微減を繰り返しつつ緩やかに減少している。

佐倉地区のデータ

【平成26年3月末現在】

○佐倉地区：面積 20.95 km² (佐倉市：面積 103.59 km²)

○佐倉地区：住基人口 29,253人 (佐倉市：住基人口 175,575人)

○佐倉地区：人口密度 1,396人/km² (佐倉市：人口密度 1,695人/km²)

1. 公民館運営計画

運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「佐倉市立公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、地域の実態や市民生活の急速な変容に伴う学習要求や生活課題をとらえながら、住みよい地域づくりをめざす市民の連帯意識を高めます。

それとともに市民が自主的に「集う」「学ぶ」「結ぶ」活動を支援し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに努めます。

努力目標

- 利用者に対して、快い対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 各種の事業内容の充実に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

① 利用時間 ○午前9時から午後9時00分まで。

ただし、月曜日と祝日は、午後5時00分まで。

② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの

机、椅子、拡声装置

2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。

幼児家庭教育学級、少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

3. 講演会事業

継続的に学習することができない人のために、学習機会の提供を図る。

4. 団体育成

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援を行う。子ども会活動への支援、高齢者ボランティアグループの支援を行う。

5. 文化援助事業

行政機関、文化団体の教育文化行事への協力を図る。

文化団体発表会、文化祭、美術展、音楽鑑賞会、映画観賞会への支援を行う。

6. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。

中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示、及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

7. 展示事業

ロビー、展示ホールの効果的活用を図る。

利用者作品展、各種展示会の開催。

8. 図書

図書館と連携の上、学習資料を収集し、活用する。

カレッジ図書コーナーの設置、家庭教育関係の資料の整備。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
利用件数 (件)	7,105	6,965	6,554	6,780	6,463
利用人数 (人)	119,681	107,973	98,335	104,438	101,664
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	2歳児親子あそび教室	2歳児と保護者 15組	「お友達になろう」 6/11：10組 「ハンカチ遊び」 6/18：10組 「小麦粉粘土」 6/25：10組 「絵の具遊び」 7/2：7組 「運動会」 7/9：10組	遊びをとおして、幼児の自主性と豊かな心を育てあげることのできる親の態度を養う。
	家庭教育講座 「親子で食育講座」	小学生と親 12組	8/25：7組	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とする。
青少年教育	ジュニアカヌースクール	小学生3・4・5年生 15人 6月～9月 8回	①6/ 8：10人 ②6/15：13人 ③7/ 6：13人 ④7/20：14人 ⑤8/10：14人 ⑥8/23：14人 ⑦8/24：12人 ⑧9/14：13人	カヌーを通して、自然やスポーツに対する関心を高め、自身の努力・達成感を育む。
	子どもの居場所作り	小学生 (保護者)	「楽しく折り紙を折ろう」 7/30：23人 「花とあそぼう・いけばな教室」 7/25：10人 7/29：13人 7/30：7人 「親子で学ぶ武家屋敷と武士の生活」 7/27：13人 (うち保護者7人)	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露し、地域の世代間交流を図る。

			「子どもそば打ち体験教室」 8/ 5 : 9 人 「子どもの料理教室」 8/ 9 : 19 人	
	小・中・高校生 及び保護者 7月下旬～8月		7/27～9/1 35日間 : 133人	夏休み期間中、学習室2を自主学習の場として提供する。
	通学合宿	対象:佐倉東小学校 小学4・5・6年生 21名	10/20～10/23 (佐倉高セミナーハウス) 21名	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高める。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりを期待する。
	親子映画会	小学生、幼児と その保護者	8/8 「シュガーラッシュ」 : 680人 12/26 「モンスターズ・エニバーシティ」 : 516人 3/26 「怪盗グルーのミニオン危機一発」 : 435人	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
	水辺観察会 「夏休みこども水辺探検ツアー」	小学生4・5・6年生 20人	7/30 : 18人	環境保全課と共催。谷津の生きものや水質についての講義と野外観察を通じて佐倉の自然環境を学ぶ。
	佐倉市・女子美術大学 連携協働事業	小学生 20人	8/21 : 31人	女子美術大学教員・学生の指導を受けながらアートを体験する。
成人教育	地域づくり講座	成人 60人	2/4 : 20人	地域人材による講習会を行い、地域へのつながりと興味を深める。
	パソコン講座	成人 10人×3回	「Word で年賀状を作ろう！」 11/9 午後 : 9人 10 午前 : 9人 午後 : 9人	パソコン等の機器に実際に触れ、操作することによって、どのようなものであるかを体験する。

	映像機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出 *16ミリフィルム462本、ビデオ教材1383本、DVD教材150本
	佐倉学講座 「印旛沼の文化と自然」	成人 60人	1/18 : 31人 1/26 : 28人 2/ 2 : 20人 2/ 9 : 中止	佐倉の象徴として「印旛沼の文化と自然」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に伝えていくことの重要性を認識してもらう。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町400年」	成人 講座200人 散策 各 20人	12/14・1/25・3/1 3回	講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学ぶ。
	佐倉学講座 「正岡子規 『總武鐵道』 から見えて来るもの」	成人 90人	12/14 : 8人 1/25 : 6人 3/ 1 : 90人	「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、佐倉の歴史と風土への理解を深める。
	印旛沼公開講座 「温故知新」 (共催事業)	成人 90人	7/27 ・ 8/31 ・ 9/28 ・ 10/12 ・ 11/ 2・12/ 7 6回	印旛沼環境基金が主催し、環境保全課、との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学ぶ。
	佐倉学・体験講座 「佐倉民話を語る ボランティア派遣事業」、 「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
	佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	3/15 : 25人	古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をする。
高 齢 者 教 育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース	第1学年		高齢化社会のなかで、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、「であい課程」を修了後、更に学びたい人のための専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせる
		40歳～59歳 20人	5月～2月	
	60歳以上 80人	65回		
	第2学年			
第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース	第2学年		5月～2月	
	40歳～59歳 20人	67回		
		60歳以上 80人		
		第3学年		

	ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	40歳～59歳 20人 60歳以上 80人	5月～2月 41回	ために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会の提供を図る。 3/31現在 第1学年：40～59歳 6人 60歳以上～ 86人 第2学年：40～59歳 3人 60歳以上～ 86人 第3学年：40～59歳 3人 60歳以上～ 83人 第4学年：40～59歳 1人 60歳以上～ 79人
		第4学年	40歳～59歳 20人 60歳以上 80人	
コミュニティ事業	さくら学び塾 「いきいき体操を楽しもう～」	10歳以上 20人	①2/ 9:雪・中止 ②2/16:19人 ③3/ 2:14人 ④3/ 9:19人 ⑤3/16:13人	体が軽くなるリズム体操と姿勢が良くなる全身運動を自ら体験する講座。(コミュニティ事業として、市民講師の企画に基づき開設する)
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 3団体	随時	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加。
	佐倉地区社会教育関係 団体への支援	該当団体	通年	佐倉地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	中央公民館 利用グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	年1回 4/25:202団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談する。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6/24:15団体 12/ 9:14団体	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機 保有施設	2/10～14	各施設所有の16ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行う。
	16ミリ映写機操作講習会	社会教育団体 ・一般 20人	6/29:9人	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図る。
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	年1回 500部	公民館の事業紹介や募集、地域の様々な情報を提供する。
	「なかま」	成人	毎月1回 1,500部	市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をする。

	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
--	--------	----	----	--------------------------

1. 家庭教育事業

2 歳児親子あそび教室

① 開設趣旨

幼児にとって遊びは、生活上なくてはならない重要な学習であり、遊びを工夫し豊かにすることは、幼児の心と身体の成長に大切なことです。本講座は、幼児の心の成長と豊かな感受性を育む、親子のための学習講座です。

② 募集対象、募集人数 幼児とその親 15組

③ 学習目標 1. 身体で手本を示す親になりましょう。

2. 学んだことを生活の中で活かす努力をしましょう。

3. 子どもの豊かな創造性を大切にし、友だちづくりや他の親子との交流に努力しましょう。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月11日(火) 10:00~11:30	自己紹介、リズム遊び、エプロンシアター	川口 はぎ江
2	6月18日(火) 10:00~11:30	ハンカチ、タオル、シーツを使って遊びます	川口 はぎ江
3	6月25日(火) 10:00~11:30	小麦粉粘土を作って造形遊びをします	川口 はぎ江
4	7月 2日(火) 10:00~11:30	絵具を使って手がた押しや指絵遊びをします	川口 はぎ江
5	7月 9日(火) 10:00~11:30	身近な物を利用した運動会をします	川口 はぎ江

⑤ 講座を終えて

広い会場である大ホールが改修工事だったため、募集組を15組と昨年度より半分の組で応募をかけました。狭い会場での実施だったので、応募組数は11組と丁度良い組数だったと思われます。

1回目は初対面同士だったので、大人しくしている子ども達が多かったのは勿論なのですが、保護者も緊張していたのかな、職員が話しかけても反応が薄かったのには驚きました。

しかし、回数を重ねるごとに子ども同士、保護者同士が積極的にコミュニケーションを取る機会が増えていったのは嬉しかったです。特に初回では話しかけても反応してくれなかった保護者が積極的に話しの輪に入り、講座を楽しんでいる姿がみられたのは良かったです。

子ども達も絵具での手がた遊びやペットボトルをピンに見立てたボーリングなど日頃家では体験できない遊びを楽しんでいました。特に2回目のシーツを使用したシーツくぐりは皆で協力して行う遊びだったので子ども同士、保護者同士が話しをする良いきっかけだったと思います。

5回の講座を通して今回は子どもとの触れ合いの大切さは勿論、同じ歳の子を持つ保護者同士の交流の大切さを学んでくれたのではないかと思います。

お父さん歓迎！親子で食育講座

①開設趣旨 欠食や偏食などライフスタイルの変化による食生活の乱れが子どもたちの健康に及ぼす害として懸念される中で、親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学びます。また、父親の育児・家事参加を促すことにより、男女平等参画の推進と、家庭教育の充実を図ります。

②募集対象、募集人数 小学生（小学3年生から小学6年生）とその保護者 10組

③学習目標 調理する食材について知り、食の機能と食文化について学びます。
講座を通して親子との触れ合い、交流を深めます。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	8月25日(日) 9:00~15:00 千葉県立東金青年の家	野外でピザとパエリアを作る。 ピザとパエリアは石窯にて焼く。	東金青年の家のスタッフ

⑤講座を終えて

平成22年度より男女共同参画の観点を取り入れ、対象をお父さんと子どもを優先にして募集した食育講座です。今年度の参加申込は親子7組となりました。お父さん限定にしなかったのが良かったのか24年度より参加組数が増えました。

今回は千葉県東金青年の家を講座場所とし野外にて調理実習を行いました。天気は曇りでしたが、気温は暑すぎず、熱中症や火傷もなく無事に講座を終える事が出来ました。

石窯でピザとパエリアを焼くという経験はなかなか出来ないため、子ども達は夢中で石窯の前で焼き加減を見てました。また、野外だったため、子ども達も保護者も楽しくのびのびと調理していました。

アンケートの結果からも保護者からは「子どもが積極的に調理をやっている姿が見られて良かった」「定期的にやってほしい」子どもからも「すごく楽しかった。また行きたい」との意見がありました。

講座内容は良かったのですが、遠方がネックだったため募集PRに苦戦しました。来年度は内容を変え、参加し易い場所と時期を考えていきたいと思えます。

2. 青少年教育事業

ジュニアカヌースクール

①開設趣旨 カヌーを体験することにより、地元の印旛沼に親しむとともに、年齢の異なる仲間との団体活動をとおして社会性・自発性の涵養を図る。

②対 象 小学生3年生～5年生 15人

③開催期間 平成25年6月8日(土)から9月14日(土) 全9回
午前10時から正午まで

④指 導 者 佐倉市カヌー協会

⑤学習プログラム

回	日時	テーマ	学習内容	指導者
---	----	-----	------	-----

1	6月 8日(土)	開講式・実習	講義と会場見学・実技	佐倉市カヌー協会
2	6月 15日(土)	実習	基本技術の習得	〃
3	7月 6日(土)	〃	〃	〃
4	7月 20日(土)	〃	〃	〃
5	8月 10日(土)	〃	〃	〃
6	8月 23日(金)	〃	〃	〃
7	8月 24日(土)	県大会(希望)	実技・成果	〃
8	8月 25日(日)	実習	基本技術の習得	〃
9	9月 14日(土)	〃	〃	〃

⑥ 事業を終えて

基本的な技能の習得を中心とした講座を実施した。プログラムの後半では、ボールを使ったり、レースをしたり、様々な形状のカヌーに挑戦したりし、より高度な技能を身につけることができた。

練習場所は佐倉市カヌー協会の全面的な協力もあり同協会が普段の練習場所としている印旛沼中央水路を使用し、子どもたちはカヌーの体験を通してふるさと佐倉の自然に親しんだ。

参加児童は普段通っている学校とは違う小学校の、小学3～5年生という学年の違う子どもたちであったが、回数を重ねるにつれ、お互いの親睦も深まり、準備・後片付けを皆で協力して自発的に行うようになっていった。

8月下旬に行われた千葉県小学生新人カヌー大会には受講者3名が参加し、本講座での学習の成果を試した。

子どもの居場所作り

① 開設趣旨

今日の少子化の流れの中で、子どもたちの社会性とコミュニケーション能力を育むため、地域の様々な人たちとの関わりが大切と言われている。しかし現状は、安全に楽しく遊ぶ場所や機会が失われつつあり、子ども自身の手で「居場所」を作ることが難しい環境となってきた。そうした中で、夏休みの子どもたちの居場所を公民館が提供し、公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。

② 募集対象、募集人数 小学生（主に佐倉地区4小学校） 定員延べ123人

③ 開催期間 小学生の夏休み期間 全7回

④ 学習プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月25日(木) 10:00～12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
2	7月27日(土) 9:30～11:30	親子で学ぶ武家屋敷	まちづくり支援ネットワーク佐倉
3	7月29日(月) 10:00～12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
4	7月30日(火) 10:00～12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟

5	7月30日(火) 10:00~12:00	楽しく折り紙を折ろう	佐倉生涯学習を進める会
6	8月5日(月) 9:30~12:30	子供そば打ち体験教室	そば打ち愛好会
7	8月9日(金) 9:30~12:30	子どもの料理教室	よもぎ

⑤ 講座を終えて

平成17年度から始めた事業である。公民館利用グループの協力を得て、5団体の公民館利用グループにより実施した。今年度は全体で延べ95名の参加があった。一人で複数の教室に参加した児童もいた。

今日の少子化の流れの中で、地域の住民と関わることにより、子どもたちが地域社会に馴染む機会を作る「子どもの居場所作り」は、たいへん意義のある事業であると言える。また、子どもたちの受け入れ側である公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は、新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となった。

また今年度は、初めてまちづくり支援ネットワーク佐倉による「親子で学ぶ武家屋敷」を実施したが、地域に住んでいながら武家屋敷を訪れるのは初めてという家族も居り、有意義なものとなった。

世代間交流の場として、地域に開かれた公民館の中の子供の居場所として、長く続けていきたい事業のひとつである。

通学合宿

① 開設趣旨 子どもたちが生活体験をすることにより、協調性、自主性を育むとともに両親の大切さを感じる機会を提供する。また、両親には、子どもと離れることで日頃の親子関係を考える機会を提供する。そして、スタッフに地域の人材を入れることで、地域で子どもを育てる意識を啓発する。

② 募集対象・募集人数 佐倉東小児童(4~6年生)21人

③ 期間・回数 平成25年10月20日(日)~平成25年10月23日(水) 3泊4日

④ 学習目標

1. お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育む。
2. 日常生活に必要な生活技能を習得する。
3. 子どもの自律と自立による生きる力“社会性・責任感・協調性・他人を思いやるやさしさ・規律意識・忍耐力”を育む

⑤ 指導者 千葉敬愛短期大学生 佐倉市民カレッジ千成会 佐倉高校 公民館職員

⑥ プログラム

月日(曜日)	学 習 内 容	会 場	参加者数
10月20日(日)~ 10月23日(水)	開校式 ・献立決め・買物・朝食・夕食 (調理、後片付け)・洗濯・入浴・清掃 閉校式	中央公民館	佐倉東小児童21人、敬愛短期大学学生カウンセラー6人、市民カレッジ千成会12人、佐倉高校ボランティア6人、公民館職員4人、社会教育課1人

⑦ 講座を終えて

佐倉東小学校の通学合宿では、当初、児童21人募集のところ28人の応募があったため、抽選を実施し21人で実施しました。当事業においては市民カレッジ千成会をはじめ、24人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添いなどをサポートしていただいています。

通学合宿期間中は、子ども達が班ごとに、約35人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け、片付けまでを行います。また掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、4日間大変厳しいスケジュールではありましたが、ほとんどの児童のアンケートから「働くことや協力すること大切さがわかった」「みんなと協力できてよかった」との声が聞かれました。また参加児童全員が「親の大変さわかった」と回答するなど、親元を離れ、自分達のことを自分達でやってみることで、家族の見えない大変さを感じてくれたようです。

千葉敬愛短期大学生に学生カウンセラーとして協力をいただきましたが、子ども達と4日間共にすごしてくれたおかげで、子ども達への細やかな配慮が可能になり、活動も比較的スムーズに進めることができました。

JOSHIBIワークショップ「1日水族館～佐倉にもぐろう！！～」

① 開設趣旨

本事業は平成24年4月2日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をとおして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。

② 募集対象、募集人数 小学3～6年生 20名

③ 開催期間 平成25年8月21日 13：30～16：00 1回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月21日(水) 13：30～16：00	夏といえば海！川！印旛沼！？水の中に住んでいるいろんな生物たちの事を学びながら、たくさんのお友達と一緒に“世界に一つだけのステキな水族館”を作ってみませんか？	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域3年(監修：日沼禎子准教授)

⑤ 講座を終えて

募集定員を超える31人の応募があったが、指導に当たる女子美術大学から受け入れ可能との了承を得たので、応募者全員を受け入れた。

アンケートの結果、参加児童の満足度は高く、次回への期待が読み取れる。当日の様子からも見て取れたが、大学生による製作指導・支援は、参加児童・保護者からも好評であった。テーマはあるものの、何ができるかわかる一般的な工作と比較して、制作の自由度が高いことが好まれたようだ。使いたい材料があれば持参を可としたが、保護者が何を持たせて良いのか迷ったとの意見もあった。学生に対しては「夏休みの自由課題・宿題として提出できること」を前提条件として示していたが、アンケートの結果3分の1の参加児童が学校に提出している。

3. 成人教育事業

地域づくり講座「地元野菜を使ったスイーツ作りに挑戦！」

① 開設趣旨

現在、「食」と「農」の原点を見つめ直す地産地消の推進が全国各地で展開されている。

本地域づくり講座では、地元野菜の新しい活用法を学び実践することにより、地産地消の推進を図り、食料自給率の向上や地域の活性化につなげることを目的とする。

② 募集対象・募集人数 一般成人 20人

③ 開催期間 平成26年2月4日(火) 13:00～16:00 1回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月4日(火) 13:00～16:00	メニュー ・紫いものちんすこう風 ・ごぼうのフロランタン ・人参プリン ・人参のパンケーキ ・小松菜のくるみ味噌まんじゅう(おやし風) ・むかご入りかるかん ・豆乳カスタードクリーム	佐倉自然に生きる会 若梅 裕子・永井 久枝

⑤ 講座を終えて

当日は、デモンストレーションから始まり、講師から調理の流れやコツ等の説明があり、その後参加者が4グループに分かれて調理実習を行った。自然とコミュニケーションが生まれ、笑顔で楽しく調理していた。男性2名(別テーブルだったので、女性に囲まれて男性1人だった)もコミュニケーションをとれていた。1人1メニューの担当を割り振って進めたので、手持ち無沙汰になってしまう方もいなかった。また、参加者が自主的に担当をまたいで助け合いながら行っていた。講師の準備・シミュレーションが念入りに行われており、滞りなく進んだ。

参加者のアンケートでは、9割以上が「講座に参加して満足」との回答を得ている。

地域の講師による調理実習、特に地元野菜を使ったスイーツ作りを行なうことで、仲間づくり・地域づくりに繋げることができ、引き続き次年度以降も続けていきたい事業となった。

パソコンイベント2014「Wordで年賀状を作ろう！」

① 開設趣旨

初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。

② 募集対象、募集人数 一般成人 30人(各10人×3回)

③ 開催期間 平成25年11月 9日(土) 午後の部 13:00～14:50

11月10日(日) 午前の部 9:40～11:30

午後の部 13:00～14:50

(※各回同じ内容)

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月9日(土) 13:00~14:50	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生 17期・18期生 13人
2	11月10日(日) 9:40~11:30	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生 16期・17期生 13人
3	11月10日(日) 13:00~14:50	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生 16期・17期生 13人

⑤ 事業を終えて

講座の内容として「Wordで年賀状を作ろう!」を7年連続で実施した。昨年度はパソコンの持ち込みを可とし、日曜日の午前・午後の2回で各20名計40名の定員で実施したが、実施後「持ち込んだパソコンをスタッフに強制終了された」という苦情の電話があり、持ち込んだパソコンの操作をスタッフが行うことで、故障を引き起こしてしまう可能性があることから、今年度は公民館所有のパソコン(Windows7、Word2010)10台のみを使用することとし、土曜日の午前を準備に充て、土曜日の午後、日曜日の午前・午後の3回で各回10名計30名の定員とした。

企画・準備の段階から市民カレッジ情報コース卒業生の協力を得ながら進めたため、テキストの作成、当日の役割分担などは問題がなかった。受講者、スタッフにより技術の差があり、メイン講師の説明に進度が合わない場面もあったが、フリーのスタッフが適切に対応していた。また、文面の作成のみを実施する計画だったが、受講者の中に「宛名面の作り方も知りたい」と個人的にスタッフに訊き、たまたま対応できるスタッフだったので教えてあげたという事象があった。受講者の公平性を考えると、検討の余地がある。

コミュニティ事業・さくら学び塾(学びあい講座)「いきいき体操を楽しもう～心と体の健康づくり～」

① 開設趣旨

本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾(学びあい講座)として開設する。

日常の中でよく疲れた、おっくうだ、面倒くさいと言われる方! 体が軽くなるリズム体操と姿勢が良くなる全身運動を自ら体験する講座です。みんなと一緒に、いきいきと動いてみませんか。5回の体験講座をとおして、自分の体を見つめ直してください。

② 募集対象、募集人員 10歳以上の方 20人

③ 開催期間 平成26年2月9日(日)・16日(日)・3月2日(日)・9日(日)・16日(日) 全5回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月9日(日)	大雪のため中止	
2	2月16日(日) 10:00~12:00	呼吸法・ラジオ体操 自己流でやれば効果は半減、正しくどう動くかが重要です。	内野 牧夫 (鍼灸師・生涯 学習コーディネーター)
3	3月2日(日) 10:00~12:00	うちの体操・段差運動 足腰きたえて転倒を防ぐ貯筋運動。内野式トレーニング	
4	3月9日(日) 10:00~12:00	佐倉ふるさと体操・なのはな体操 故郷佐倉をイメージした体操。健康増進のための新県民体操	

5	3月16日(日) 10:00~12:00	ウォーキング・中国全国民体操～練功18法～ 神経と血液の流れを良くする、治療と予防の統合体操です。	
---	-------------------------	--	--

⑤ 事業を終えて

「さくら学び塾」としての市内6公民館の一斉募集が10月15日、実施日初回が2月9日と離れていたため、当初参加者集めに苦戦したが、1月15日号広報での追加募集、講師自身による地域の方への呼びかけなどにより、最終的には定員を超える応募があった。また、当初講師が提案したタイトルは「子どもと大人のふれあい体操」であったが、親子でないと参加できないと誤解される恐れがあるため、「いきいき体操を楽しもう～子どもと大人のふれあい体操～」とし、追加募集の際にはサブタイトルを「～心と体の健康づくり～」に改めた。結果として60代以上が大半となり、子どもの参加は無かった。

アンケートの結果を見ると、内容については6割が「大変良い」、3割が「良い」と答えており、自由記載にも「先生の丁寧なご指導と熱意でとても楽しかったです」などの声があり、参加者にとって満足度の高い講座であったことが伺える。

佐倉学講座「正岡子規『總武鐵道』から見えて来るもの」

① 開設趣旨

佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物について学ぶという佐倉学の目的に対し、この講座では文学の面からアプローチし、正岡子規の「總武鐵道」に描かれた明治27年当時の時代背景等をもとに、佐倉の歴史と風土への関心を高め、理解を深めることをねらいとする。

② 募集対象、募集人数 一般成人 90人

③ 開催期間 平成25年9月1日(日)・9月8日(日) 各午前10時～正午 2回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	9月1日(日) 10:00~12:00	「總武鐵道」と「佐倉・子規の道」	作家 高比良 直美
2	9月8日(日) 10:00~12:00	正岡子規と水郷の作家たち	作家 高比良 直美

⑤ 講座を終えて

少しでも多くの方が参加できるよう、また、地域での学習意欲が高い佐倉市民カレッジの学生も参加できるよう、日曜日の開催とした。前年度は電話での受付としたが、申し込みが殺到し、多数の人をお断りしたので、より学習意欲の高い人に受講してもらうため、本年度は往復はがきでの受付とした。

休憩時間に受講者と講師が活発に意見交換する姿が見られ、学習意欲、関心の高さが伺えた。受講者アンケートでも約57%の人が「講座の目的がとても達成されていると思う」、約38%の人が「少し達成されていると思う」と回答しており、佐倉の歴史と風土への関心を高め、理解を深めるというねらいは達成されていると考えられる。また、約74%の人が「今回の講座に満足」、約19%の人が「やや満足」と回答しており、受講者の満足度も高かった。

第2回で出席者数が大きく減少している。各回終了時にアンケートを取るなどの検証方法が考えられる。

佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」

① 開設趣旨

江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当

時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。これまでは佐倉の歴史といえば幕末・明治期が注目されてきたが、「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、作者が歩いた佐倉城とその城下町を参加者も実際に歩き、体感する。佐倉・城下町400年記念事業として、1611年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」の理解が深まる。

- ② 募集対象、募集人数 一般 20人
- ③ 開催期間 平成26年3月15日(土) 1回
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	3月15日(土) 9:00~12:00	散策経路：三ノ門跡—二ノ門跡—一ノ門跡— 本丸跡—台所門跡—不明門跡—対面所跡—椎 木門跡—馬出—蛇坂—下屋敷—愛宕坂—愛宕 神社跡—円正寺—田町門跡—水堀内側—田町 —姥が池—三ノ門跡—大手門跡	特定非営利活動法人 まちづくり支援 ネットワーク佐倉

⑤ 講座を終えて

市内各所で佐倉・城下町400年記念事業が周知されていることからか、20名の定員を超える応募があり、6名のキャンセル待ちを受けたが、その後も応募の電話が入り、数名をお断りするほどの人気となった。講師と相談し、当日キャンセルを見越して26名の参加を受け付けたが、結果的に当日は25名の参加者となり、移動の列が長くなってしまふ、拡声器を使っても講師の声が参加者全員に届かないなどの問題が発生した。講師からも、やはりこのような散策は20名が限度だろうとの意見があった。内容的には、普段何気なく歩いている佐倉城跡公園を、絵図を見ながら、当時の様子がまざまざと目に浮かぶような解説を聞きながら散策することで、「歴史のまち佐倉」の理解、関心が深まり、意義深い講座であったと思う。

佐倉学専門講座「印旛沼の文化と自然」

- ①開設趣旨 かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶ。印旛沼の文化・歴史・自然を学習し、郷土佐倉の地域文化の創生につなげる。
- ②対 象 一般成人 60名
- ③開設日時 平成26年1月18日(土)・1月26日(日)・2月2日(日)・2月9日(日) 全4回
午前10時~11時30分
- ④学習目標
 1. 佐倉市のシンボルでもある印旛沼の自然と環境、文化と歴史について学習する。
 2. 郷土愛を育み、ふるさと佐倉創生への意欲を養う。
- ⑤学習プログラム

回数	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師	参加者
1	1月18日(土)	白井八景	元千葉県公立中学校教員 村上 勲	31名

2	1月26日（日）	ホトトギスと石井とし夫	元千葉県公立中学校教員 村上 勲	28名
3	2月2日（日）	印旛沼の洪水 印旛沼流域の地形水源	NPO法人水環境研究所 白鳥 幸治・岩井 久美子	24名
4	2月9日（日）	身の回りの水質を調べてみよう	NPO法人水環境研究所 千葉工業大学名誉教授 瀧 和夫	荒天の為中止

⑥ 事業を終えて

本事業は、「佐倉学」の中の1講座として開講した。

第1回・第2回は文化面からの講義、第3回・第4回は自然面からの講義とした。

第1回の「白井八景」では、白井八景の元となった「利根川図志」と「當山八景」について学習した。

第2回の「ホトトギスと石井とし夫」では、自身が印旛沼周辺の句を多く残しているため、当時の印旛沼の情景について学習した。

第3回の「①印旛沼の洪水 ②印旛沼流域の地形と水源」では、自然の恵みと厳しさを学び、水循環や湧水のしくみ、印旛沼周辺の湧水の水質・特徴について学習した。

第4回の「身の回りの水質を調べてみよう」では、印旛沼の水や身の回りの水の水質について簡易的な水質実験をしながら学習予定だったが雪の為中止となった。

参加者から、講座の中に登場する現地を訪れる機会をぜひ設けてほしい、印旛沼に再発見できたという声もあった。

佐倉学入門講座「佐倉・城下町400年と土井利勝」

① 開設趣旨

「佐倉の歴史に興味があるけれども、きっかけがない」「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方々を対象に、佐倉城（鹿島城）を築城し、その城下町の整備を指導した佐倉の領主「土井利勝」をキーワードとして学習します。

現在の佐倉市の基礎となった江戸時代の佐倉を学習することによって、佐倉に愛着を持ち、ふるさと創生につなげることを目的とします。

② 募集対象、募集人数 一般・散策 各20人（参加 12/14 8人、1/25 4人）
講義 200人（参加 90人）

③ 開催期間 平成25年12月14日～平成26年3月1日 3回

④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	12月14日（土） 9：00～12：00	新町周辺散策	NPO法人佐倉一里塚
2	1月25日（土） 9：00～12：00	新町周辺散策	NPO法人佐倉一里塚

3	3月1日(土) 13:30~15:30	土井利勝ゆかりの城下町である佐倉と古河の歴史について理解を深める。	永用俊彦(古河歴史博物館学芸員)
---	------------------------	-----------------------------------	------------------

⑤ 講座を終えて

平成21年度から「土井利勝」について講座を開催している。現代の佐倉市の都市計画につながる佐倉城とその城下町が整備された時代をテーマとしている。

新町周辺散策では、講師の解説を聞きながら、現在も残る城下町の地割や道を体感した。日頃何気なく歩いている、あるいは自動車で通過している街並にも佐倉の歴史があることを感じていただけたと思う。3回目では、土井利勝が佐倉から転封され、古河城とその城下町を整備したことに因み、現在の古河市から古河歴史博物館学芸員を講師に迎え、利勝の子孫である「雪の殿様 土井利(とし)位(つら)」について講演していただいた。「智の大老 土井利勝」の子孫が幕府老中を務め、雪の結晶の観察記録を残したことはあまり知られていない。利勝の業績にも触れながら利位の政治的な業績と自然科学の世界に残した足跡を知る機会となった。

次年度以降も散策と講演の組み合わせで事業を展開したいが、地元の人材を活用する観点からも散策の講師(案内役)は、市内のNPO法人や市民団体を活用したい。一方、講演の講師は、大学・博物館等から迎え、専門的な視点で佐倉・城下町400年関連の歴史を解説していきたいと思う。

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。

短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。

また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、健康で継続して学習できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：100人（年齢別募集）

※各学年の年齢構成は以下のとおり

60歳以上 80人

40歳から59歳まで 20人

なお、平成25年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募 集 定 員	応 募 数	入 学 者 数
第1学年	60歳以上 80人	114人	94人
	40歳から59歳まで 20人	6人	6人
	計 100人	計 120人	計 100人

※平成25年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	50	100	44	92
	2 組	50		48	
第2学年	1 組	46	92	44	89
	2 組	46		45	
第3学年	福 祉	20	85	19	83
	歴 史	24		24	
	情 報	18		18	
	元 気	23		22	
第4学年	福 祉	23	82	22	81
	歴 史	18		18	
	情 報	17		17	
	元 気	24		24	
計		359	359	345	345

4. 佐倉市民カレッジ運営委員会

市民カレッジには、佐倉市民カレッジ運営委員会を設置している。委員会は佐倉市公民館運営審議会委員、佐倉市民カレッジ卒業生、識見を有する人等によって構成している。

また、運営委員会は市民カレッジの運営や学習内容の方針、学生の進級などについて審議する。

・佐倉市民カレッジ運営委員会委員

	役 職	人数	氏 名
1	佐倉市教育委員会教育長	1	茅野 達也
2	佐倉市公民館運営審議会委員長	1	慶田 康郎
3	市民カレッジ卒業生代表	3	海保 豪 田中 郁三 友松 清子
4	識見を有する人	5	高比良 直美 遠山 正博 堀川 武 左奈田 雄一 六崎 美知代

※平成25年3月31日現在

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」という。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。

また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域にであう中で、新たな生きがいを見つけることが学習のねらいとなっている。

「であい課程」2年間の学習日数は70日程度で、約132単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々

である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の、「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、平成24年度から参加型の講義を加えた。具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練を行った。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約80単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

① 「あったか福祉コース」

社会福祉一般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では一步専門的な理論・技術を習得し、現場への実践を交えながら制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習する。

4年生では3年時の学習に加え「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え学んでいくことにつながり、市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習にも取り組んでいる。

② 「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。

その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③ 「さわやか情報コース」

デジタルディバイドと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、

自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、デジカメ撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

平成24年度から卒業生のボランティアによってウイルスチェック等のパソコンメンテナンスが行われている。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。

3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースを作成し、作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動を通して、今までの主体的な学習の過程や成果を健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、農林水産省、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット296、順天堂大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。また、これらを含めた平成25年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

① 1年 市内めぐり

6月14日、6月21日にクラス別にそれぞれ実施し、酒々井リサイクル文化センター、しすいハーブガーデン、和田ふるさと館歴史民俗資料室、公益財団法人印旛郡市文化財センターなど市内外の様々な施設を見学してまわり、佐倉市について理解を深めた。

② 専攻課程各コースの校外学習

3 学年	5 月 2 9 日	歴史	佐倉地区歴史散策
	6 月 5 日	元気	ウォークラリー
	6 月 2 6 日	情報	東京情報大学見学と講義
		歴史	志津地区史跡散策

	9月16日	福祉	佐倉ホワイエ見学体験
	9月18日	元気	順天堂大学1日体験授業(3・4年合同)
		福祉	国際福祉機器展見学(東京ビッグサイト)
	10月30日	歴史	本佐倉城跡周辺歴史散策
	10月9日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	11月20日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	12月4日	歴史	臼井地区歴史散策
	12月18日	歴史	成田山の歴史を学ぶ(散策)
4学年	5月31日	歴史	弥富地区歴史散策
	6月4日	福祉	ユーカリ優都苑見学
	6月25日	歴史	佐倉城と佐倉連隊(散策)
	7月13日	歴史	佐原のまちづくりから学ぶ(散策)
	9月10日	情報	情報発信の現場を見てみよう(読売新聞東京本社 /国立科学博物館)
	9月18日	元気	順天堂大学1日体験授業(3・4年合同)
	9月24日	4コース合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	11月26日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
		歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義

7. 平成25年度の主な行事

(1) 始業式・入学式

5月18日(土)、始業式に引き続き第22回入学式が行われ、100人の新入生が晴れの日を迎えた。

市民カレッジ総長の蔵和雄市長から「佐倉市民カレッジの建学の精神である『為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他(た)に尽くす』を心掛けていただき、四年間の学習の中で、知識と人格共に備わったカレッジ生となっていただきますとともに、地域活動の中心的人材となっていただくよう切に願っております。」との祝辞をいただいた。続いて、在校生を代表して歓迎の言葉があり、これを受けて新入生100人を代表して「入学の言葉」があった。

(2) 佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に10月4日(金)に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ボール送り、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心に手作り運動会となった。

(3) 文化祭

11月13日(水)から11月16日(土)にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施した。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)に参加があり、より多くの人と新たな交流と親睦を深めた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設の入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーに招待した。

最終日の舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、たのしい有意義なひとときを過ご

した。

(4) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動のための具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習をもとに自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成26年1月23日(水)に総長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表をした。

その発表内容は、「佐倉の見所、結び付けよう点と線」「わがまちの石に込められた人々の思いをしよう」「公園の花壇設置・植栽及び清掃除草の実施」「竹林の手入れと竹材活用～竹の手入れで竹と親しむ」「高齢者福祉施設に於けるボランティア活動と在宅者生活買い物支援活動(店舗マップ作成)」「高齢者施設への訪問(交流とお手伝い)」「魅力ある街“佐倉”散歩マップの作成」「ウォーキングで健康を促進し健康寿命を伸ばそう」の7点であった。

(5) 修了式・卒業式

平成26年2月15日(土)に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者8人を含む81人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

蕨総長は「市民協働を実現するためには、皆様がこれまで学んできた地域で活動をするための知識と技術が益々必要になってくる。」との言葉を述べられた。

卒業生を代表して元気コース西山 章さんが卒業の決意を述べ、通い続けた学舎を巣立った。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸サークルが、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコース ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.24 (金)	オリエンテー ション	学ぶことの意義 -公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要- 自己紹介・役員選出等				館長 社会教育指導員
3	5.31 (金)	佐倉市の概要	各地区の成り立ち/ 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動 (1)	園芸と緑化活動	園芸サークル 八板義教
4	6.7 (金)	健康づくり (1)	ウォークラリー -坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く-				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.14 (金)	地域活動 (2)	2組 地域活動について	越沢七子 中央公民館長	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	地域活動について 避難訓練等	越沢七子 社会教育指導員
		自然と環境 (1)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター			午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代	
6	6.21 (金)	自然と環境 (1)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター			午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代	
		地域活動 (2)	1組 地域活動について	越沢七子 中央公民館長	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	地域活動について 避難訓練等	越沢七子 社会教育指導員
7	6.28 (金)	自然と環境 (2)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	スポーツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
8	7.5 (金)	芸術と文化 (1)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(1) -房総の里海と美術-	筑波大学 教授 齊藤泰嘉	芸術と文化 (2)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(2) -新収蔵作品展鑑賞-	佐倉市立美術館 学芸員
9	7.12 (金)	地域活動(3) ホームルーム	1組 午前:地域活動の実践者に学ぶ(現地視察) 午後:「私の生きがい」発表に向けて 2組 午前:「私の生きがい」発表に向けて 午後:地域活動実践者に学ぶ(現地視察)				
10	7.19 (金)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の基本計画と 財政について	企画政策課 財政課	高齢者を取り巻 く犯罪と交通の 知識	振込め詐欺と交通安全	千葉県警察 佐倉警察署
11	7.26 (金)	日本の文学 (1)	古典に親しむ 伊勢物語を読む	元東京情報大学 教授 松田 喜好	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会
12	9.6 (金)	個人発表	私の生きがい	社会教育指導員	個人発表	私の生きがい	社会教育指導員
13	9.13 (金)	健康づくり (2)	食品表示の見方について	農林水産省 関東農政局 千葉地域センター	健康づくり (3)	スポーツフェスティバル に向けて (カレッジ体操)	社会教育指導員/ 元気コース卒業生
14	9.20 (金)	健康づくり (4)	楽しみながらできる 健康づくりと カレッジ体操	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり (5)	リズムダンス	元気コース卒業生 土肥秀雄
15	9.27 (金)	印旛沼の歴史 (1)	地質時代の印旛沼 印旛沼の一生	NPO水環境研究所 理事 白鳥孝治	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	スポーツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.11 (金)	自然と環境 (3)	房総の海 黒潮と親潮の合流地	元県立中央博物館 望月賢二	健康づくり (6)	リズム体操	(財)日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
18	10.18 (金)	自然と環境 (4)	里山の生態	東京情報大学 教授 原慶太郎	市政を学ぶ (2)	佐倉市の環境保全施策 ／佐倉市のごみの減量・ 再資源化について	環境保全課 ／廃棄物対策課
19	10.25 (金)	地域活動 (4)	佐原まちぐるみ博物館 に学ぶ (午前10時～11時30分)	佐原おかみさん会	自然と環境 (5)	谷津環境の保全活動 (現地活動)	佐倉里山クラブ
20	11.1 (金)	社会福祉 (2)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 非常勤講師 久良木香	印旛沼の歴史 (2)	印旛沼と人々の生活 江戸時代の干拓事業	元成田高教諭 鏑木行廣
21	11.8 (金)	ホームルーム	カレッジ文化祭 に向けて	社会教育指導員	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(5)	カレッジ文化祭 に向けて	社会教育指導員
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(6)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(7)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11.22 (金)	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 客員研究員 大場宏美	世代間交流 (2)	小学生との交流に 向けて	社会教育指導員
25	11.29 (金)	社会福祉 (3)	高齢社会をどう生きるか -少子高齢化社会の日本の 課題-	聖徳大学准教授 川口一美	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて 活動のための準備	社会教育指導員
26	12.6 (金)	世代間交流 (4)	小学生との交流	社会教育指導員	国際理解	中国のことわざ	成東高校教諭 山本郁夫
27	12.12 (木)		*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章
28	1.10 (金)	1・2年合同 公開講演会	民俗学から見た近現代の 日本女性	国立歴史民俗博物館 教授 関沢まゆみ	1・2年合同 公開講演会	佐倉における幕末明治期 の先端医療	順天堂大学 名誉教授 酒井シヅ
29	1.17 (金)	まちづくり	まちづくりに学ぶ				市民カレッジ 3年生
30	1.23 (木)		*		1・2年合同 私たちの まちづくり	まちづくり実践報告 を聞く	佐倉市長 藤 和雄
31	1.31 (金)	日本の文学 (2)	短歌に親しむ 香取秀真とアヲギ派の 歌人たち	歌人 秋葉二郎	生活と環境	動物に見る環境と生活	歴史民俗博物館 考古研究部教授 西本豊弘
32	2.7 (金)	消費者教育	自分で守る消費生活	消費生活専門 相談員	自然と環境 (6)	直下型地震と 千葉県地質環境 ・東日本大震災について	茨城大学名誉教授 楡井 久
33	2.14 (金)	病理と予防	ガンの医学	医学博士 長谷川栄一	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員
34	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表 (1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニングコンサート	佐倉市民カレッジコーラス ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.23 (木)	ホームルーム まちづくり (1)	役員選出 写真撮影 私たちのまちづくり	社会教育指導員 館長	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	印旛沼ネットワー カーの会
3	5.30 (木)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の震災対策と 避難訓練	防災防犯課、 佐倉市八街市 酒々井町消防組合	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
4	6.6 (木)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (1)	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授 森永良丙
5	6.13 (木)	共生社会 (1)	人権について	千葉県人権 啓発センター 常務理事 鎌田行平	地域活動 (2)	社会生活と ボランティア活動	千葉県生涯大学 講師 関内直枝
6	6.20 (木)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (3)	ボランティア活動 実践者の発表	活動実践者(子都手 留会・文化財ボラン ティアガイド佐倉)
7	6.27 (木)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 の取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 (1)	印旛沼周辺の民俗	成田山霊光館 小倉 博
8	7.4 (木)	市政を学ぶ (3)	ファシリティマネジメン トの取り組みについて	資産管理経営室	佐倉の歴史 (2)	旧石器時代・縄文時代 -印旛沼周辺の人々-	元市立市川 考古博物館 館長 堀越正行
9	7.11 (木)	市政を学ぶ (4)	佐倉市の公園緑地	公園緑地課	病理と予防 (1)	シニア世代の心理	放送大学准教授 星 薫
10	7.18 (木)	健康づくり (1)	シニア世代の運動療法	順天堂大学 非常勤助教 門屋悠香	市政を学ぶ (5)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課
11	7.25 (木)	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (3)	佐倉藩主 堀田正睦	元成田高校教諭 鏑木行廣
12	9.5 (木)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
13	9.12 (木)	福祉	地域福祉とは	福祉部 川根紀夫	市政を学ぶ (6)	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課
14	9.19 (木)	地域活動 (4)	市民協働について	法政大学 教授 名和田是彦	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
15	9.26 (木)	自然と環境 (1)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授 瀧和夫	病理と予防 (2)	メンタルヘルスについて	健康増進課
16	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員
17	10.10 (木)	市政を学ぶ (7)	佐倉市の観光と 佐倉・城下町400年 記念事業	産業振興課	自然と環境 (2)	身近な自然環境に関する 最近の話題	県立中央博物館 倉西良一
18	10.17 (木)	日本の文学 (1)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学 教授 鳥海宗一郎	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表 (2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.24 (木)	自然と環境 (3)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子
20	10.31 (木)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 高須 順一	佐倉の歴史 (4)	佐倉城とその城主	印旛郡市 文化財センター 調査課 日暮冬樹
21	11.7 (木)	日本の文学 (2)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11.21 (木)	佐倉の教育	佐倉市の学校教育と 佐倉学	教育センター 社会教育課	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	11.28 (木)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 教授 成瀬敏郎	佐倉の歴史 (5)	房総の明治維新	元千葉県文書館 川本愉彦
26	12.5 (木)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (6)	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木行廣
27	12.12 (木)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	1・2年合同公 開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
28	1.10 (金)	1・2年合同 公開講演会	民俗学から見た近現代の 日本女性	国立歴史民俗博物館 教授 関沢まゆみ	1・2年合同 公開講演会	佐倉における幕末明治期 の先端医療	順天堂大学 名誉教授 酒井シヅ
29	1.16 (木)	市政を学ぶ (8)	高齢者福祉の取り組みと 認知症	高齢者福祉課	まちづくり (10)	発表準備・リハーサル	社会教育指導員
30	1.23 (木)	まちづくり (11)	発表に向けて	社会教育指導員	1・2年合同 私たちの まちづくり	まちづくり実践報告会	佐倉市長 藤 和雄
31	1.30 (木)	佐倉の歴史 (7)	弥生・古墳・奈良・平安時 代-印旛沼周辺の人々-	大妻女子大学 講師 熊野正也	共生社会 (2)	メディアにおける 女男平等参画について	メディアジャーナリスト 渡辺真由子
32	2.6 (木)	佐倉の歴史 (8)	佐倉の鉄道発達史	鉄道史研究家 白土貞夫	情報社会 (2)	コンピュータを賢くする ～知能情報処理について～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
33	2.13 (木)	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員	病理と予防 (3)	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園 園長 遠山正博
34	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジ・コーラス ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.22 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習 (1)	オリエンテーション (コース概要)	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	6.5 (水)	障害福祉 (1)	視覚障害を語る	地域福祉ボランティア 飯島 誠 朗読ボランティア こおろぎの会	訪問介護	訪問介護サービスの 社会的役割、職業倫理	佐倉白翠園 ケアサービスセンター所長 瀧原久美子
4	6.12 (水)	福祉サービス	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	障害福祉 (2)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	視覚障害者総合 支援センターちば 所長 高梨憲司
5	6.19 (水)	元気コース合同 生活と健康	救急法を学ぶ	佐倉消防署	施設見学 (1)	千葉県立盲学校 体験学習	千葉県立盲学校
6	7.3 (水)	高齢期の 食生活	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				料理研究家 六崎美知代
7	7.17 (水)	高齢者の身体的 特徴と疾患	高齢者に多い疾患の基礎 知識と予防・対処方法	佐倉白翠園 看護師長 杉田真佐子	ホームルーム	スポーツフェスティバル 文化祭に向けて	社会教育指導員
8	9.4 (水)	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子	高齢者福祉 (1)	地域包括支援センター について	白井・千代田地域包 括支援センター
9	9.18 (水)	施設見学 (3)	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
10	9.25 (水)	施設見学 (2)	佐倉ホワイエの 見学・体験	佐倉ホワイエ	介護演習 (1)	介護技術の基礎 (1)	佐倉白翠園 介護主任 三浦恵子
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.23 (水)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタル セラピスト 瀬上規后子	話し合い学習 (2)	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間	午前10時～11時50分	午後1時10分～3時
------	--------------	------------

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.30 (水)	健康づくり	コーディネーション運動	トレポンテスポーツクラブ・キャプテン 小瀧 綾	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (2)	佐倉白翠園 介護主任 三浦恵子
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.20 (水)	傾聴	聞く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	障害福祉 (3)	聴覚障害について	障害福祉課
17	12.4 (水)	施設見学 (4)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分				特別養護老人 ホーム佐倉白翠園
18	1.15 (水)	子育て支援 (2)	地域で子育て、 みんなで子育て (施設見学・交流、講座)	佐倉保育園	歯科・口腔	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.29 (水)	高齢者と 住まい	高齢者にやさしい住まい	建築士 小杉敬太郎	高齢者福祉 (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課
20	2.5 (水)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	伊能忠敬研究会
21	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジ・フォーラム 千葉県警察音楽隊
2	5.22 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習	オリエンテーション (コース概要)	社会教育指導員 公民館職員
3	5.29 (水)	歴史散策 (1)	佐倉地区の史跡散策 集合 9時40分 中央公民館 散策 午後3時解散予定				NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉
4	6.12 (水)	佐倉市の歴史 (1)	井野長割遺跡と 佐倉の縄文時代	文化課	文化財の保護	文化財の修復と 保存処理	南武蔵野文化財修復 研究所 石原道知
5	6.26 (水)	歴史散策 (2)	志津の史跡散策 集合 9時30分 ユーカリが丘線中学校駅 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人佐倉一里 塚 (カレッジ卒業生)
6	7.10 (水)	佐倉市の歴史 (2)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と東国の戦国時代	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 理事 小野正敏	佐倉市の歴史 (3)	上杉謙信と臼井城合戦 —中世後期の佐倉—	市文化財審議委員 県立四街道高校教諭 遠山成一
7	7.24 (水)	歴史散策 (3)	大佐倉の史跡散策 集合 9時30分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉
8	9.11 (水)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉城下町の祭礼文化に ついて	祭礼文化研究家 山瀬一男	郷土の先覚者 (1)	津田 仙 -近代農業のさきがけ-	津田塾大学 名誉教授 高崎宗司
9	9.25 (水)	歴史散策 (4)	臼井の史跡散策 集合 9時20分 京成臼井駅北口下 散策 午後3時現地解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.9 (水)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士	佐倉市の歴史 (6)	最近の埋蔵文化財調査に ついて	公益財団法人印旛郡 市文化財センター
12	10.16 (水)	町並み散策	成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				成田山霊光館 小倉 博

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.23 (水)	4コース合同 講演会（1）	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	郷土の先覚者 （2）	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課
14	11.6 (水)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者 （3）	浅井忠と佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館 館長 前川公秀
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13（水）～11.15（金） 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.27 (水)	佐倉市の歴史 （7）	佐倉藩士	総務課 市史編さん担当 土佐博文	佐倉市の歴史 （8）	佐倉牧	京都造形芸術大学講師 高見沢美紀
18	12.11 (水)	佐倉市の歴史 （9）	堀田正倫と幕末・明治 の佐倉の人々	文化課	佐倉市の歴史 （10）	佐倉新町の宿帳にみる人物	酒々井町文化財審議会 委員 高橋健一
19	1.22 (水)	佐倉市の歴史 （11）	佐倉藩士と沼津兵学校	歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦	ホームルーム	研究テーマについて	社会教育指導員
20	2.5 (水)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	伊能忠敬研究会
21	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース (1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコース ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.22 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習	オリエンテーション (コース概要)	社会教育指導員 公民館職員
3	5.29 (水)	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 渡辺 敏	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員
4	6.12 (水)	情報伝達の技術 (1)	パソコンに触れてみよう ①	パソコン インストラクター	情報伝達の技術 (2)	パソコンに触れてみよう ②	パソコン インストラクター
5	6.26 (水)	情報化時代の 学習 (1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前9時10分中央公民館集合 貸切バスにて東京情報大学へ移動 午後3時40分中央公民館帰着予定				東京情報大学
6	7.10 (水)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう①	カレッジ卒業生 18期情報コース	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう②	カレッジ卒業生 18期情報コース
7	7.24 (水)	情報伝達の技術 (5)	ワードを使おう③	カレッジ卒業生 18期情報コース	情報伝達の技術 (6)	ワードを使おう④	カレッジ卒業生 18期情報コース
8	9.11 (水)	情報化時代の 学習 (2)	インターネット社会とは ① ー過去から未来へー	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習 (3)	インターネット社会とは ② ーインターネット活用術ー	パソコン インストラクター 小坂大輔
9	9.25 (水)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (4)	情報モラル ー著作権とはー	(社) 日本映像 ソフト協会 後藤 健郎
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.9 (水)	情報化時代の 学習 (5) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信ーCATVの可能性ー」 スタジオ見学ー情報が発信されるまでー 集合 9時45分 現地、解散				広域高速ネット 296
13	10.23 (水)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタルズ チーフカウンセラー 淵上規后子	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.30 (水)	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.27 (水)	情報伝達の技術 (7)	タブレットを 体験してみよう	NTTドコモ インストラクター	情報伝達の技術 (8)	デジカメ写真の取り込 み・画像処理	パソコン インストラクター 小坂大輔
17	12.3 (火)	情報化時代の 学習(6)	情報社会を考える	東京情報大学 教授 茨木正治	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員
18	1.15 (水)	情報伝達の技術 (9)	パワーポイント①	カレッジ卒業生 18期情報コース	情報伝達の技術 (10)	パワーポイント②	カレッジ卒業生 18期情報コース
19	1.22 (水)	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦(印刷)	社会教育指導員
20	2.5 (水)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	伊能忠敬研究会
21	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコーラス ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.22 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	話し合い学習	オリエンテーション (コース概要)	社会教育指導員
3	6.5 (水)	健康づくり (1)	ウォークラリーで健康増進 ー初夏の風を受け、森林浴ー				社会教育指導員 公民館職員
4	6.12 (水)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員 公民館職員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ 齊藤太郎
5	6.19 (水)	生活と健康 (2) 福祉コース合同	救急法を学ぶ	佐倉消防署	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員 公民館職員
6	7.3 (水)	地域活動	地域総合型 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ 亀野陽太郎	健康づくり (2)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	7.17 (水)	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 水野基樹
8	9.4 (水)	健康づくり (3)	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業生	健康づくり (4)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会
9	9.18 (水)	健康づくり (5)	3・4年元気コース合同 順天堂大学 1日体験学習				順天堂大学 准教授 柳谷登志雄
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.16 (水)	課題学習 (3)	ウォークラリーコースを作ろう (3) ー自分たちでルート (経路) を歩き、ウォークラリーコースを検証するー				社会教育指導員 公民館職員
12	10.23 (水)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタルズ チーフカウンセラー 淵上規后子	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13（水）～11.15（金） 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
14	11.16 （土）	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
15	11.20 （水）	課題学習 （4）	ウォークラリーコースを作ろう（4） —自分たちでルート（経路）を歩き、ウォークラリーコースを検証する—				社会教育指導員 公民館職員
16	12.4 （水）	病理と予防 （2）	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり （6）	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	NPOニッポン ランナーズ 小林友香
17	12.11 （水）	課題学習 （5）	ウォークラリー コースを作ろう（5）	社会教育指導員	健康づくり （7）	ヨーガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 平井美守珠
18	12.17 （火）	健康づくり （8） 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～	順天堂大学 准教授 柳谷登志雄	健康づくり （9） 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員 公民館職員
19	1.15 （水）	生活と健康 （3）	私が行っている 健康づくり [個人発表]	社会教育指導員	健康づくり （10）	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	財日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
20	2.5 （水）	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 —人生を2度生きる—	伊能忠敬研究会
21	2.15 （土）	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコース ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.21 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	6.4 (火)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	施設見学 (1)	ユウカリ優都苑 (老健施設・グループ ホーム・学童保育)	同所事務局長
4	6.18 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
5	7.2 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
6	7.9 (火)	障害福祉	知的障害・精神障害者福 祉について	木の宮学園	カウンセリングの 基礎	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子
7	9.3 (火)	傾聴への あゆみ	聞くから聴くへ	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	傾聴演習 (1)	ロールプレイ (1)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
8	9.17 (火)	介護予防	介護予防体操	高齢者福祉課 岩本絵己	傾聴演習 (2)	ロールプレイ (2)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
9	9.24 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘職員
10	10.1 (火)	傾聴演習 (3)	ロールプレイ (3)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.15 (火)	学び合い学習 (1)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (火)	学び合い学習 (3)	情報コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	歴史コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.5 (火)	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.26 (火)	傾聴演習 (4)	佐倉ホワイエでの 体験学習	佐倉ホワイエ/ セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ	傾聴演習 (5)	傾聴のまとめ	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
18	12.3 (火)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	1.14 (火)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (火)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコース ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.21 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.31 (金)	歴史散策 (1)	弥富地区の史跡散策 集合 9時20分 川村記念美術館前駐車場 散策 午後3時現地解散予定				酒々井町文化財審議 会委員 高橋健一
4	6.18 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	佐倉道と成田道	日本交通史学会 山本光正 (歴博元教授)
5	6.25 (火)	歴史散策 (2)	「佐倉城跡と佐倉連隊」(散策) 集合 9時30分 中央公民館 散策 午後3時現地解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)
6	7.2 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に向けて	作家 高比良直美	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.13 (土)	町並み散策	「佐原のまちづくりから学ぶ」(散策) 集合 午前9時00分 JR成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定				NPO法人小野川と佐 原の町並みを考える 会副理事長吉田昌司
8	7.23 (火)	地域活動	歴史ガイドについて	NPO法人佐倉一里 塚(カレッジ卒業生)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
9	9.10 (火)	佐倉市の歴史 (2)	近代の佐倉	文化課	佐倉市の歴史 (3)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	神奈川大学大学院歴 史民俗資料科学研究科 特任教授 安田常雄
10	9.24 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘職員
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.15 (火)	学び合い学習 (1)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (火)	学び合い学習 (3)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.5 (火)	学び合い学習 (5)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 中央公民館職員
17	11.26 (火)	郷土研究 (1)	これからの博物館で 必要なこと (集合 9時40分 国立歴史民俗博物館)	国立歴史民俗博物館 教授 久留島 浩	郷土研究 (2)	歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗博物館を見 学〕 (15時現地解散予定)	国立歴史民俗博物館 教授 久留島 浩
18	12.10 (火)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	1.21 (火)	学習のまとめ	研究レポートの発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (火)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコース ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.21 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.28 (火)	情報伝達の技術 (1)	ワード①	カレッジ卒業生 18期情報コース	情報化時代の 学習 (1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 平真児
4	6.11 (火)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	カレッジ卒業生 18期情報コース	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	カレッジ卒業生 18期情報コース
5	6.25 (火)	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	カレッジ卒業生 18期情報コース	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	カレッジ卒業生 18期情報コース
6	7.2 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.23 (火)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (2)	コンピューターの 過去・現在・未来	東京情報大学 教授 寺嶋廣克
8	9.10 (火)	情報化時代の 学習 (3) 施設見学	【情報発信の現場を見てみよう】 会場 読売新聞東京本社/国立科学博物館 地下鉄「東銀座駅」6番出口徒歩2分 午前10時20分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
9	9.24 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘 職員
10	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.8 (火)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.15 (火)	学び合い学習 (1)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (火)	学び合い学習 (3)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.5 (火)	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13 (水)～11.15 (金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.26 (火)	情報化時代の 学習 (4)	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田博祐	自主学習	学生がテーマを決めて自 主的に学習する	社会教育指導員
18	12.13 (金)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (5)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 講師 樋口大輔
19	1.21 (火)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	前年度卒業生 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (火)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.18 (土)	カレッジ合同式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉市民カレッジコーラス ・ 千葉県警察音楽隊
2	5.21 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	6.7 (金)	地域活動 (1)	実践活動 ウォークラリー 一坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動)				社会教育指導員
4	6.18 (火)	健康づくり (1)	コーディネーション 運動 自ら楽しむ健康	トレポントスポーツ クラブ・キャプテン 小瀧 綾	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
5	7.2 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	地域活動 (2)	ターゲットバード ゴルフ	ターゲットバード ゴルフ協会
6	7.16 (火)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	健康づくり (2)	高齢者のための 3B体操	公益社団法人 日本3B体操協会 鈴木静江
7	9.3 (火)	健康づくり (3)	健康を保つ食事作り (調理実習)	料理研究家 六崎美知代	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
8	9.10 (火)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態	日本野鳥の会 浅野俊雄
9	9.18 (水)	健康づくり (4)	3・4年元気コース合同 順天堂大学 1日体験学習				順天堂大学 准教授 柳谷登志雄
10	9.24 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				自然休養村公社 草ぶえの丘 職員
11	10.4 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	佐倉市民カレッジ第18回スポーツフェスティバル 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.15 (火)	学び合い学習 (1)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

平成25年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (火)	学び合い学習 (3)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.5 (火)	学び合い学習 (5)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.13(水)～11.15(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.16 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.3 (火)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.17 (火)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～	順天堂大学 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (6) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員 公民館職員
19	1.14 (火)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり [個人発表]	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (火)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.15 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

5. 広報・展示事業

広報事業

「公民館だより」

- ねらい 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- 発行回数 年1回
- 発行部数 500部
- 配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター
- 内容 佐倉市民カレッジ であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバル
まちづくり実践報告会、サークル活動 他
- 展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

「なかま」

- ねらい 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざします。
- 発行回数 年12回（毎月1回）
- 発行部数 毎月1, 500部（年間1, 500部×12ヵ月＝18,000部）
- 配布方法 市内公民館・図書館・保険福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配付も行っています。
- 編集方法 佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員15名が編集会議を毎月2回開催しています。

編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行います。

また平成17年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っています。

- 内容 A4版4ページの体裁で、1面は市長及び編集委員の原稿、2・3面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載しています。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載しています。

平成20年6月には編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞しました。

「なかま」は毎月発行されておりますが、平成22年2月には創刊から数えて400号となりました。

6. 団体育成事業

調理室利用グループによる調理室点検

- ①開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図ります。
- ②対象 調理室を定期利用しているグループ
 - ①13団体 ②15団体
- ③開催期日 ①平成25年6月24日（月） 午前10時～11時30分
②平成25年12月9日（月） 午前10時～11時30分
- ④内容 1) 調理室の清掃 2) 公民館備品の整理・点検
3) グループ備品の整理 4) グループ間の懇談 5) 公民館への要望

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

① 開設趣旨

佐倉地区子連は、佐倉地区内の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成されました。会の運営は、役員が中心となって行い、総会・役員会・各事業などを実施しています。中央公民館では、事務局としての役割、子ども会安全会等の申込みの受付、佐倉市子ども会育成連盟との連絡、備品の貸与等を行っています。子どもの成長にとって、地域における子ども会の役割は重要と思われるので、これからも活動を支援していきたい。

② 募集対象、募集人員

- ・ 単位子ども会 4 団体
- ・ 会員数 283 人(前年度比較 62 人減少)
 - 内 訳 幼児 24 人(前年度比較 14 人減少)
 - 小学生 213 人(前年度比較 45 人減少)
 - 育成者 46 人(前年度比較 3 人減少)

③ 学習目標 平成25年4月1日～平成26年3月31日

④ プログラム

実施月日	事業	内容	会場
平成 25. 4. 24 (水)	平成 25 年度総会	平成 24 年度事業報告 平成 24 年度決算報告 平成 25 年度事業計画 平成 25 年度予算案	中央公民館 学習室 2
平成 25. 5. 9(木)	佐倉市子ども会育成連盟 定期総会	平成 25 年度総会	社会福祉センター 3 階 中会議室
平成 25. 6. 11 (火)	市子ども会育成者講習会	育成者講習会	青少年センター
平成 25. 7. 5 (金)	第 1 回役員会	クリスマスパーティーについて	会議室
平成 25. 9. 30 (月)	佐倉市子ども会育成連盟役員 会第 1 回目	事業報告 中央交流フェスティバル	社会福祉センター 3 階 中会議室
平成 25. 9. 26 (木)	第 2 回役員会	中央交流フェスティバルについて クリスマスパーティーについて	中央公民館 会議室
平成 25. 10. 10 (木)	佐倉市子ども会育成者講習会	育成者クリスマス講習会	根郷公民館
平成 25. 11. 21 (木)	第 3 回役員会	クリスマスパーティについて	中央公民館 工芸室
平成 25. 12. 15 (火)	佐倉地区子連クリスマスパー ティー	吹奏楽団、太神楽によるクリスマ スパーティー	中央公民館 大ホール
平成 26. 3. 3 (月)	第 4 回役員会	平成 25 年度活動報告及び 平成 26 年度事業計画	中央公民館 研修室 1

平成 26. 3. 28 (金)	佐倉市子ども会育成連盟 第 2 回役員会	平成 25 年度活動報告及び 平成 26 年度に向けて	社会福祉センター 3 階 中会議室
------------------	-------------------------	--------------------------------	----------------------

佐倉学体験講座 ～佐倉の民話及び佐倉こどもかるた普及事業のボランティア団体派遣事業～

①開設趣旨 佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべや佐倉こどもかるたを通して、郷土愛を育むことを目的としています。

②対象・人数 市内小学生 1年生～6年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）

③期間・回数 平成25年4月1日～平成26年3月31日

・さくらっ古：全13回 1, 434名

・子都手留会：全10回 648名

④学習プログラム

【さくらっ古】

回数	月日(曜日)	民話の題名	学校名	対象・人数
1	6月27日(木) 9:30～10:35	① カムロちゃん ② てんぐにさそわれ京見物 ③ おしどりの悲しみ ほか	王子台小学校	1年生～4年生131名
2	7月12日(金) 8:35～11:25	④ カムロちゃん ⑤ 松虫姫 ⑥ おしどりの悲しみ ほか	南志津小学校	1年生～6年生267名
3	9月13日(金) 10:45～11:30	① 親はうま酒、子は清水 ② こま回し ③ ひもマジック ほか	西志津小学校	1年生～6年生10名
4	10月11日(金) 9:25～10:10	① ひもマジック ② ぴよんこしよ ③ 親はうま酒、子は清水ほか	千代田小学校	1年生54名
5	10月25日(金) 13:45～14:30	① しろぎつねの花嫁 ② 三つぎきにされた竜神さま ③ 反物地蔵 ほか	下志津小学校	2年生39名
6	11月8日(金) 9:15～11:00	① たべられたやまんば ② はっちむぎつね ③ 反物地蔵 ほか	上志津小学校	1年生～2年生202名
7	11月22日(金) 10:35～11:20	④ カムロちゃん ⑤ たんたん山 ⑥ おしどりの悲しみ ほか	青菅小学校	3年生58名

8	11月29日(金) 9:35～11:15	① 阿辰の祠 ② 反物地蔵 ③ 坂田の梅 ほか	臼井小学校	1年生～2年生110名
9	12月13日(金) 9:00～9:45	① カムロちゃん ② こま回し ③ 反物地蔵 ほか	西志津小学校	2年生132名
10	1月10日(金) 10:40～11:25	① 八幡様の白馬 ② たんたん山 ③ 鳥見塚 ほか	間野台小学校	3年生88名
11	1月24日(金) 8:35～12:15	① たんたん山 ② 反物地蔵 ③ おしどりの悲しみ ほか	染井野小学校	1年生～4年生182名
12	2月14日(金) 9:30～11:25	① こぶとりじいさん ② 反物地蔵 ③ 姥が池物語	小竹小学校	1年生～2年生77名
13	2月28日(金) 11:20～12:05	① はっちむぎつね ② ききみみずきん ③ 反物地蔵	根郷小学校	2年生84名

【子都手留会】

回数	月日(曜日)	団体名	対象・人数
1	5月15日(水) 10:20～11:55	和田小学校	1～3年生41名、4～6年生52名
2	5月16日(水) 10:40～11:25	染井野小学校	3年生49名
3	10月2日(水) 9:25～10:15	千代田小学校	3年生45名
4	11月16日(土) 10:55～12:20	白銀小学校	1～6年生21名
5	12月16日(月) 9:30～10:10 10:25～11:10	佐倉東小学校	3年生60名
6	12月18日(水) 9:20～10:05 10:25～11:10	寺崎小学校	4年生82名

	11 : 20～12 : 05		
7	1月14日(火) 10 : 45～11 : 30	小竹小学校	3年生55名
8	1月16日(木) 9 : 20～10 : 05 10 : 25～11 : 10 11 : 20～12 : 05	根郷小学校	4年生102名
9	2月20日(木) 10 : 35～11 : 20 11 : 30～12 : 15	青菅小学校	3年生56名
10	3月14日(金) 8 : 35～9 : 20 9 : 30～10 : 15 10 : 35～11 : 20	間野台小学校	3年生85名

⑤事業を終えて

この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している2団体の派遣事業です。

『さくらっ古』は、平成17年6月から活動を行っており、毎年多くの小学校からの派遣依頼をいただいております。今までは金曜日限定で派遣を受けていましたが、26年度から曜日関係なく派遣依頼を受ける事でさらなる派遣依頼の回数が広がることが期待されます。

『子都手留会』は、平成20年11月より活動を開始しています。今年度の小学校への派遣活動は10校でした。年を追うごとに派遣回数が増えていることから、各小学校に直接チラシの配布等のPRができていると思われまます。また、市民活動フェスタや和田ふるさとまつり等の地域活動にも積極的に参加をしています。これからも「佐倉こどもかるた」の活動場所を広げてもらいたいと思います。